



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 東  
 コード番号 3600 URL https://www.fjx.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 (氏名)山本 和良 (TEL) 075(744)0071  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,160	△0.9	71	—	109	408.8	62	—
2019年3月期第2四半期	3,189	0.3	△12	—	21	△51.4	△197	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △11 百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △272 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	45.55	—
2019年3月期第2四半期	△143.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,966	9,265	78.2
2019年3月期	11,118	9,372	78.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 8,571 百万円 2019年3月期 8,669 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	62.50	62.50
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	62.50	62.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,261	△2.2	99	—	169	452.2	92	—	67.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名)―、除外 一社(社名)―
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	1,468,093株	2019年3月期	1,468,093株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	91,385株	2019年3月期	91,325株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	1,376,725株	2019年3月期2Q	1,376,822株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移した一方で、米中の貿易摩擦や中国経済の減速、日韓関係の悪化など日本経済に大きな影響を及ぼすアジア地域における国際情勢はますます不透明感が増しております。

これを受けて国内消費は、家電製品を始め、高額商品には消費税率改定前の駆け込み需要が見られましたが、当社グループが関連するアパレル・ファッション業界や、手芸関連業界におきましては、総じて慎重な購買行動や節約志向が続き、服飾材料である縫い糸の受注は低調に推移しました。

当社グループでは今春以降の販売価格の改正により、販売単価は上昇しましたが、受注の低調やアジアセグメントにおける為替換算レート変動の影響もあって、第2四半期連結累計期間の売上高は3,160百万円（前年同期比0.9%減）とほぼ前年同期並みにとどまりました。

一方、利益面につきましては、売上高の回復は遅れているものの、販売価格改正による利益率の改善や販管費の減少などにより、営業利益は71百万円（前年同期は12百万円の損失）、経常利益は109百万円（前年同期比408.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は62百万円（前年同期は197百万円の損失）となりました。

なお、前年同期の親会社株主に帰属する四半期純損失につきましては、旧日本の建替えの意思決定に伴う減損損失および事業所改築関連費用等を含め、合わせて186百万円の特別損失を計上したことが主な要因となっております。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### 日本

当四半期の国内消費は、引き続きまだら模様で、家電製品を始め、高額商品には消費税率改定前の駆け込み需要が見られ、衣料品におきましても高額商品の一部には同様の需要が見られましたが、アパレル・ファッション業界や手芸関連業界におきましては、全体としてはむしろ慎重な購買行動や節約志向が強まる傾向にあり、服飾材料である縫い糸の受注は低調に推移しました。

当社グループにおきましては、当第2四半期連結累計期間には、当社は2019年4月から9月まで、国内子会社は2019年2月から7月までの業績が連結されているため、2か月のずれがあることや、それぞれの事業分野や販売地域も異なるため、状況は各社ごとに相違が見られるものの、当社におきましては今春実施した販売価格改正に伴う駆け込み需要の反動も予想以上に長引いて、販売数量の回復が遅れております。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,524百万円（前年同期比1.7%増）にとどまりました。

また利益面は、販売価格改正による利益率の改善がみられるものの、当社における販売数量の減少や製造コストの上昇傾向など、売上総利益の増加を阻害する要因もあり、セグメント利益は8百万円（前年同期は73百万円の損失）となりました。

#### アジア

当セグメントに属する全ての海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第2四半期連結累計期間には、2019年1月から6月までの業績が連結されております。

当期間におけるアジア地域での縫製につきましては、日本国内の衣料品消費の低調に伴い、日本向け衣料品の生産は全体としては慎重で抑制傾向が続いたため、当セグメントの主力である日本向け衣料品用の縫い糸の受注は伸び悩みました。特に中国におきましては、米国との貿易摩擦や国内経済の減速により、縫製業の事業環境は厳しさが増しつづきます。

このような中、中国子会社におきましても、日本同様、様々なコストアップを吸収するために販売価格の改正を実施いたしました。販売競争が一段と激化する中、受注量は低調に推移しました。これらの状況に加えて、為替換算レート変動の影響も加わって、当セグメントの売上高は635百万円（前年同期比10.0%減）にとどまりました。

一方、利益面におきましては、販売数量の減少に伴う減益要因も見られましたが、販売価格改正による利益率の改善や販管費の減少効果等により、セグメント利益は64百万円（前年同期比25.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて152百万円減少し、10,966百万円となりました。主な増減は、たな卸資産の増加150百万円があったものの、現金及び預金の減少150百万円、受取手形及び売掛金の減少33百万円、建物及び構築物（純額）の減少73百万円、投資有価証券の減少34百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて45百万円減少し、1,700百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加80百万円があったものの、事業所改築関連費用引当金の減少69百万円、その他（流動負債）の減少42百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて106百万円減少し、9,265百万円となりました。主な増減は、利益剰余金の減少25百万円、その他有価証券評価差額金の減少24百万円、為替換算調整勘定の減少61百万円などがありました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況を勘案し、2019年5月15日に公表しました2020年3月期の連結業績予想を修正しております。詳しくは本日別途公表しました、「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,939,405	2,788,818
受取手形及び売掛金	1,518,322	1,485,132
電子記録債権	143,489	146,476
たな卸資産	2,646,168	2,797,061
その他	115,414	92,452
貸倒引当金	△11,843	△13,353
流動資産合計	7,350,957	7,296,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,545,821	1,472,525
その他(純額)	829,817	840,804
有形固定資産合計	2,375,639	2,313,329
無形固定資産		
その他	248,003	225,377
無形固定資産合計	248,003	225,377
投資その他の資産		
投資有価証券	866,781	831,890
その他	288,846	311,308
貸倒引当金	△11,931	△12,385
投資その他の資産合計	1,143,697	1,130,814
固定資産合計	3,767,339	3,669,521
資産合計	11,118,296	10,966,110
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	460,677	541,215
未払法人税等	14,504	22,255
賞与引当金	58,621	59,304
事業所改築関連費用引当金	105,730	36,315
資産除去債務	13,000	5,169
その他	241,937	199,647
流動負債合計	894,470	863,907
固定負債		
役員退職慰労引当金	203,502	210,093
退職給付に係る負債	105,521	96,782
資産除去債務	39,492	34,322
その他	503,122	495,173
固定負債合計	851,638	836,372
負債合計	1,746,109	1,700,279

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	6,640,052	6,614,905
自己株式	△109,136	△109,249
株主資本合計	8,212,254	8,186,995
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	254,774	230,589
為替換算調整勘定	300,829	239,564
退職給付に係る調整累計額	△98,136	△85,933
その他の包括利益累計額合計	457,466	384,219
非支配株主持分	702,465	694,615
純資産合計	9,372,187	9,265,830
負債純資産合計	11,118,296	10,966,110

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	3,189,355	3,160,072
売上原価	2,335,259	2,247,032
売上総利益	854,096	913,040
販売費及び一般管理費	866,559	841,795
営業利益又は営業損失(△)	△12,463	71,244
営業外収益		
受取利息	4,214	5,708
受取配当金	13,355	14,897
賃貸料収入	7,095	11,691
売電収入	6,616	6,001
その他	18,387	12,744
営業外収益合計	49,670	51,044
営業外費用		
支払利息	1,308	192
租税公課	—	3,012
賃貸料収入原価	10,865	4,788
売電費用	3,370	3,083
その他	134	1,672
営業外費用合計	15,678	12,748
経常利益	21,528	109,540
特別利益		
固定資産売却益	338	85
特別利益合計	338	85
特別損失		
固定資産売却損	3,867	362
固定資産除却損	3,545	1,713
減損損失	67,083	—
事業所改築関連費用	111,503	854
特別損失合計	186,000	2,931
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△164,133	106,694
法人税、住民税及び事業税	22,381	19,743
法人税等調整額	4,801	7,256
法人税等合計	27,182	26,999
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△191,316	79,694
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,113	16,980
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△197,429	62,714

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△191,316	79,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,975	△24,185
為替換算調整勘定	△104,269	△79,019
退職給付に係る調整額	11,180	12,202
その他の包括利益合計	△81,113	△91,001
四半期包括利益	△272,429	△11,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△255,745	△10,532
非支配株主に係る四半期包括利益	△16,684	△774

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,483,418	705,936	3,189,355	—	3,189,355
セグメント間の内部売上高 又は振替高	150,771	358,765	509,537	△509,537	—
計	2,634,190	1,064,702	3,698,892	△509,537	3,189,355
セグメント利益又は損失(△)	△73,310	51,266	△22,043	9,580	△12,463

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額9,580千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、当社の本社社屋建替えの意思決定により、仮事務所へ移転したことに伴い、取壊し予定の資産の帳簿価額の全額および仮事務所の資産の帳簿価額と回収可能額との差額を減損損失として特別損失に計上しております。当該事象による減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては66,782千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,524,436	635,635	3,160,072	—	3,160,072
セグメント間の内部売上高 又は振替高	144,425	357,676	502,102	△502,102	—
計	2,668,862	993,312	3,662,174	△502,102	3,160,072
セグメント利益	8,453	64,275	72,728	△1,484	71,244

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,484千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。